

# 令和2年度AO入試 環境・社会理工学院B 出題の意図

## 問題1

我が国の人口は、若い世代を中心に総人口が減少するとともに、多くの人が地方から都市部へ転入する傾向も顕著になってきている。社会資本整備においては、このような人口動態を考慮することが重要と考えられている。土木・環境工学を志す人には、国土全体の視点から問題を把握・分析する能力があることが期待される。

本問題では、人口動態にかかわる統計データを読み取り、その社会的な背景を考え分析できる能力、自分の見解を積極的に説明できる表現力と文章力を問うことを企図している。

## 問題2

社会資本整備を進めるにあたり、住民も含めた関係者の合意形成は重要である。しかし、いわゆるNIMBY (Not In My Back Yard) 施設の整備については、関係者の理解と合意を得るのが困難な場合もみられる。

土木・環境工学を志す人には、NIMBY施設の整備に関して、合意形成を促したり、解決策を提案したりできる能力が求められる。本問題では、施設の役割、地域社会、人と自然の共生などの複数の視点を整理した上で、解決策を含めて自分の見解を分かりやすく説明できる表現力と文章力を問うことを意図している。